

平成25年行政事業レビューシート

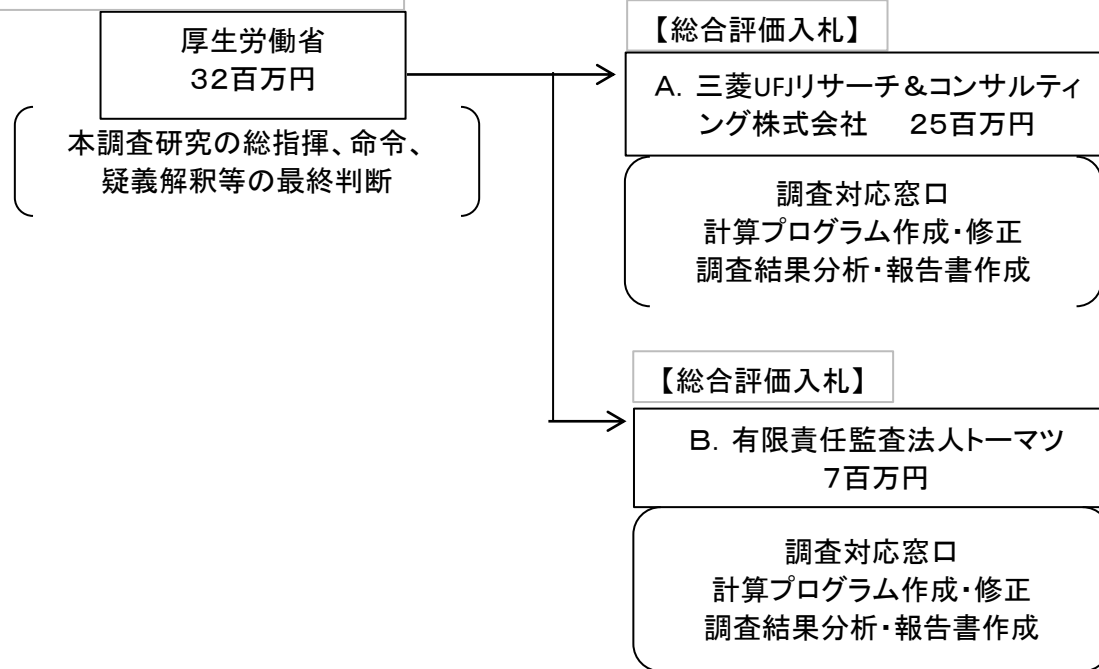
(厚生労働省)

事業名	医療経済実態等調査費		担当部局庁	保険局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和42年度		担当課室	医療課保険医療企画調査室	竹林経治			
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-9-1 適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	・中央社会保険医療協議会建議書(昭和42年9月10日) ・健康保険法等の一部を改正する法律附則第2条第2項の規定に基づく基本方針(平成15年3月28日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療機関等における医業経営等の実態を明らかにし、社会保険診療報酬に関する基礎資料を整備する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療機関等に関する以下の調査を実施する。 ・病院、一般診療所、歯科診療所、保険薬局に対する施設全体の収支状況を把握するための調査(医療機関等調査) ・病院に対する各診療科ごとの収支状況を把握するための調査(事例調査) ・訪問看護ステーションの訪問看護療養費の実態を把握するための調査(訪問看護療養費実態調査) ・柔道整復、はり・きゅう、あん摩マッサージ、治療用装具等の療養費の実態を把握するための調査(療養費実態調査)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	54	235	95	186	179	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	54	235	95	186	179	
		執行額	26	193	43			
	執行率(%)	48.1	82.8	45.3				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	医療機関等における医業経営等の実態を明らかにし、社会保険診療報酬に関する基礎資料を整備することを目的としており、定量的な指標を示すことはできない。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	調査の対象とした施設数を活動指標とする。(医療機関等調査、2年に1度実施)		活動実績(当初見込み)	施設	-	8,596	-	-
					(-)	(-)	(9,156)	
単位当たりコスト	13,980(円/施設)		算出根拠	単位当たりコスト= 医療機関等調査の費用(128百万円) / 調査対象数(9,156施設)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	医療機関等調査	128	131	調査票の集計及び報告書の印刷経費(隔年要求分)の増によるもの 調査内容の精査による減 調査内容の精査による減				
	事例調査	43	36					
	訪問看護療養費実態調査	4	3					
	療養費実態調査	11	11					
計	186	179						

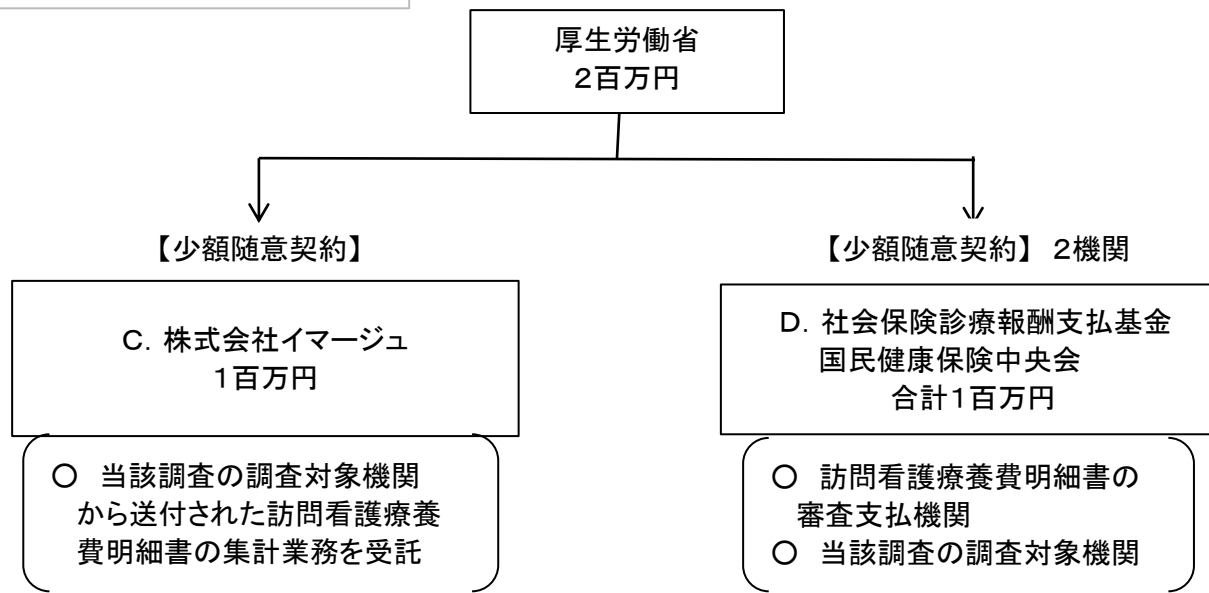
事業所管部局による点検						
	項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	診療報酬改定の適正な評価に資するという観点から、広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるといえ	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	診療報酬改定の基礎資料となるため、国が実施すべき事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	診療報酬改定の基礎資料として位置付けられ、活用されている。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	総合評価入札の他、一部の少額な事業については随意契約としているが、複数見積により一定の競争性を確保している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○	総合評価入札を行うことにより、コストの削減に努めている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	人件費や印刷費等、調査の実施にあたり必要最低限のものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	当初計画に比して事業規模が縮小したものの。	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	個別の医療機関等の経営実態調査であり、現行の調査票調査以外の代替手段はない。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	医療機関等からの回答を得て、診療報酬改定の基礎資料として活用されている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	診療報酬改定の基礎資料として活用されている。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	不用率が大きい点について、実績等を踏まえた事業計画の精査に努める必要がある。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	本事業の必要性の観点からの評価は概ね妥当であるが、引き続き適切な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	272	平成23年	243	平成24年	209

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

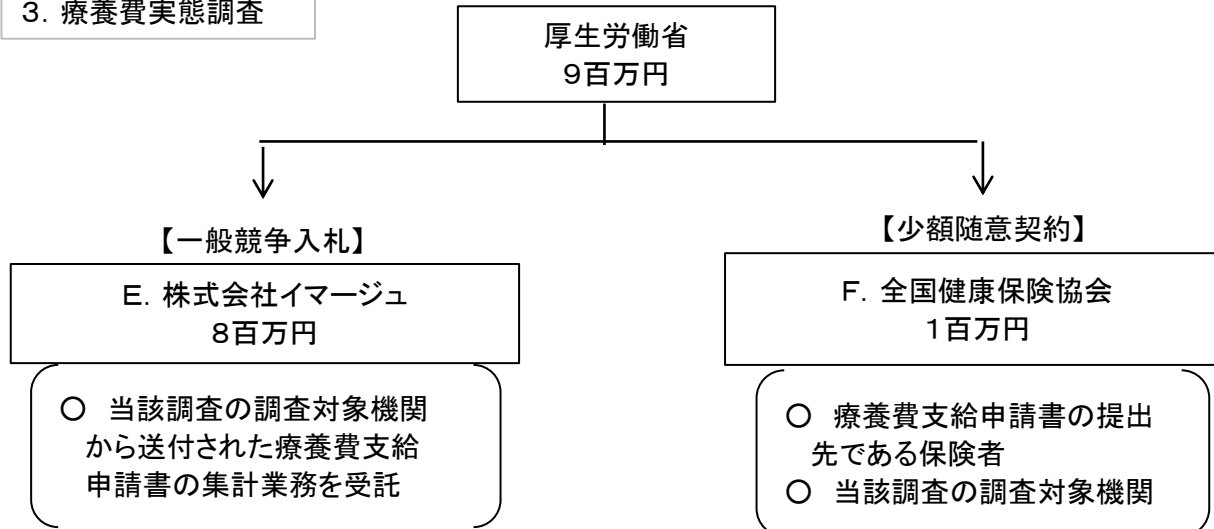
### 1. 事例調査



### 2. 訪問看護療養費実態調査



### 3. 療養費実態調査



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社			D.国民健康保険中央会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究者、研究補助者、庶務管理部門	21	印刷・通信費	療養費明細書の印刷等	1
印刷・通信費	調査票等の印刷・発送	4			
計		25	計		1
B.有限責任監査法人トーマツ			E.株式会社イマージュ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究者、研究補助者、庶務管理部門	5	役務費	データ入力、集計	8
印刷・通信費	調査票等の印刷・発送	2			
計		7	計		8
C.株式会社イマージュ			F.全国健康保険協会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	データ入力、集計	1	印刷・通信費	支給申請書の印刷等	1
計		1	計		1

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサルテ	調査票作成、集計、分析等業務	25	2	86.7
2					
3					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	有限責任監査法人トーマツ	調査票作成、集計、分析等業務	7	2	21.9
2					
3					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社イメージ	データ入力、集計業務	1	随意契約	
2					
3					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社会保険診療報酬支払基金	療養費明細書データの抽出	0	随意契約	
2	国民健康保険中央会	療養費明細書データの抽出	1	随意契約	
3					

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社イメージ	データ入力、集計業務	8	2	83.4
2					
3					

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	全国健康保険協会	療養費支給申請書の写しの提出	1	随意契約	
2					
3					